

今津詩吟クラブ (今津) 50周年

代表者：山内岳至 (正師範)

日本詩吟学院岳風会茨木地区近江高島支部 (今津詩吟クラブ) は、昭和47年に今津自衛隊で誕生しました。静岡県の富士学校より五大隊の副隊長として松井先生が着任され今津部隊詩吟部が発足し15名程の隊員が指導下に入りました。週1回、2時間の指導をいただきましたが、姫路部隊長として栄転されたので、初代支部長の大沢耕岳先生が部下3名を引率して茨木市の指導者研修会に参加して指導者の資格を取得し活動が本格化しました。昇段試験や各大会の競吟に近江高島支部の実力を発揮し、他支部から「近江高島支部強し、高島に負けるな」との称賛を受けました。現在は、初期部員の高齢化と自衛隊関係の部隊縮成による移動で若年隊員の入会を部隊関係者と調整中ですが、新型コロナウイルスの関係で入会手続きに待たされたがかり、勢力の拡大に足踏み、カウンターパンチをもらっていますが、何時かは打ち勝って声高らかに詩吟の良さを発声できるよう、会員一同で活動を継続していきます。



日本詩吟学院岳風会新大阪岳風会茨木地区近江高島支部発足記念大会にて

剣舞・今津紫桜会 (今津) 40周年

代表者：石垣紀美子 / 講師：鈎正賀

剣舞・紫桜会は、昭和57年1月より今津駅前の桜田食堂3階フロアを稽古場にして3人の仲間から始まりました。当初は扇舞 (せんぶ) を習う女性だけでしたが、口コミで剣舞を習う男性が次第に増え、今では全員が剣舞、扇舞共に習っています。現在は、小学生から熟年までの9人の仲間が働く女性の家で毎週水曜日、午後7時半から練習しています。剣舞・扇舞は、主に詩吟・和歌・謡曲等に合わせ、羽織袴を身につけ、刀や扇子を持って舞う舞台芸能です。地域の文化祭から県のフェスティバル、全国のコンクールまで発表は多岐にわたります。一人で舞う時もあれば複数での群舞もあります。新しい振り付けがなかなか覚えられなかったり難しい技に手こずったりした時など、お互いに教え合い世代を超えて練習しています。初心者は歩くことから始め、次第に体の動かし方、刀や扇子の使い方を習います。作品は年齢や体力に応じて異なるので若い人には激しい運動となり、お年寄りには健康維持となります。今年で創会40年を迎え新しい仲間を求めています。皆さん、私達と一緒に稽古しませんか。楽しいですよ。



歌謡剣舞「白雲の城」を舞う

気功・太極拳クラブ (今津) 35周年

代表者：江角美智江 / 講師：澤井玲子

昭和61年頃、林正俊先生の指導で始まり、澤井玲子先生が引き続き指導していただきました。最初の教室は勤労者体育館や、一時は屋外で行ったこともあります。現在は女性の家で行っています。クラブ員は当初は10人余りでした。多い時は40人位いましたが、現在は23人あります。御多分にもれずこの会も高齢化が進み現在の平均年齢は80歳くらいです。でも、皆さん元気で楽しく太極拳を行っています。太極拳の魅力は、両手両足を別々に動かすことにより認知機能の強化に役立ち、足裏を使って重心を支えることが軸をしっかりさせバランスの良い運動を行う習慣が付き転倒予防に繋がります。呼吸法により、吸う息より吐く息を長くすることで副交感神経の働きで体をリラックスさせます。現在は、コロナ禍で中止していますが、年に一回、県下の太極拳教室で交流会を行っています。ここでは、指導者の模範演技を見てとても勉強になります。また、グリーンパーク思い出の森へ行き屋外で太極拳をすることもできます。



毎週水曜日、金曜日の午前中に働く女性の家で練習しています。

◆ 単位クラブのみで実施する展示会や発表会、教室等

◆ 支部が実施する視察研修等 【以上、申込随時】

『初心者教室・講座』の開催・・・ <<開催経費は文化協会が負担します(上限があります)>>

各クラブが主体となり、文化活動を始めてみたい人、クラブに入って何かを始めたい人などに教室・講座を開催し、クラブの新規会員を増やします。(今年度は申し込み期間を過ぎています。来年度にご検討ください)